

平成26年度南三陸町の予算

「生活再建・住宅再建」を加速させ発展期へ

平成26年度 一般会計予算総額は **398億5千万円**
そのうち復旧・復興関連予算は約 **331億円**

予算編成のための基本方針

平成26年度の予算においても大規模な復興予算を確保し、「生活再建・住宅再建」を一層加速させながら、創造的復興に向けた「発展期」の第一歩を記す重要な年度となっております。町内一円において土木工事や建築工事の音が響き渡り、復興が現実として感じられる施策の展開を図り、また、将来にわたり安定的な財政運営が図られるよう健全性の確保に資することを基本として編成したものです。

【一般会計予算】

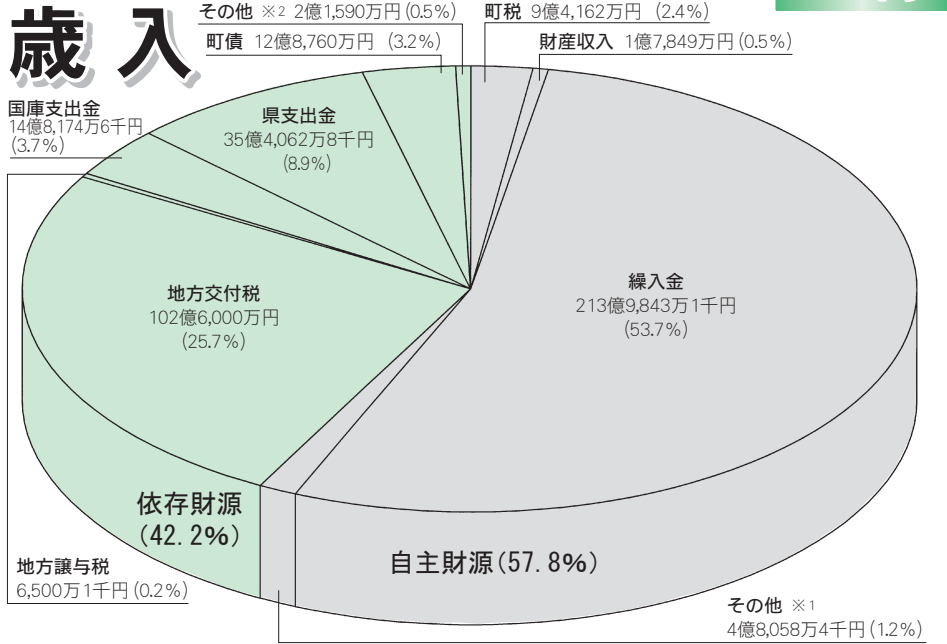
平成26年度一般会計予算は、3月定例会に提案し、原案のとおり可決されました。歳入歳出それぞれ

【歳入予算の特徴】

平成26年度の予算を見ると、町税や繰入金等の自主財源が全体の39.8%を占めます。平成25年度当初予算と比べ40パーセントの大幅な減となっています。これは、がれき処理事業が完了したこと、漁港施設の災害復旧事業の発注がほぼ完了したことによるものです。しかしながら、国の復興交付金を財源として実施する「防災集団移転促進事業」、「災害公営住宅整備事業」、「津波復興拠点整備事業」、「がけ地近接等危険住宅移転事業」などの復旧・復興関連予算が依然として大きく、予算全体の83パーセントを占める状況となっています。

平成26年度の予算を見ると、町税や繰入金等の自主財源が全体の

歳入



※1…分担金及び負担金、使用料及び手数料、寄附金、繰越金、諸収入
※2…利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、交通安全対策特別交付金、地方特例交付金

自主財源 (町が自主的に確保し、使途の決定も自主的に行える財源)
町税…町民税や固定資産税等、町が収納しているお金
財産収入…町が有する財産を処分・貸付によって得たお金や、基金(預金)の利子によって生じたお金
繰入金…基金の取り崩しによって得られるお金や、他の会計から現金を移動させて得られるお金
その他
分担金及び負担金…町の事業により特に利益を受ける方から、費用の一部を負担していただくお金(主なものは、保育料です)
使用料及び手数料…公共施設を利用した方、特定の行政サービスを受けた方から負担していただくお金(主なものは、町営住宅使用料や住民票発行手数料です)
寄附金…住民の方などから無償でいただいたお金

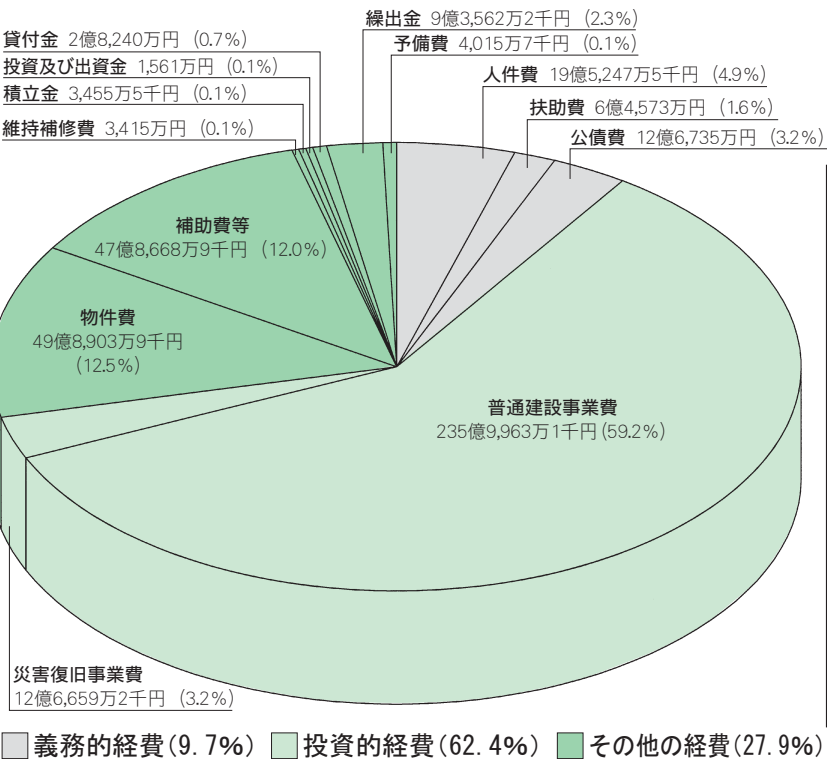
繰越金…前年度の決算により余ったお金を、次の年度の財源として繰り越されたお金
諸収入…他の収入科目にも当てはまらない収入(主なものは、預金利子・給食費です)
依存財源 (国や県等の基準に基づいて得られる財源)
地方交付税…国が国税を一定基準で地方に交付する税で、すべての地方自治体が標準的な行政を行えるように交付するお金
地方譲与税…国が税金として徴収した自動車重量税、地方揮発油税を一定の基準によって地方自治体に譲与するお金
国庫(県)支出金…国(県)が特定の事務・事業に対して交付(負担金・補助金等)するお金
町債…道路・漁港・学校建設など、一時的に多額の費用がかかる事業を実施するために、町が長期にわたり借入れするお金
その他…利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・地方特例交付金・地方消費税交付金・自動車取得税交付金・交通安全対策特別交付金は、国の税金や県の税金を、各交付金として一定基準により地方に交付するお金

歳出

目的別経費

区 分	H26予算額	構成比
議 会 費	1億1,637万1千円	0.3%
総 務 費	23億9,896万3千円	6.0%
民 生 費	23億1,261万3千円	5.8%
衛 生 費	12億148万2千円	3.0%
農林水産業費	13億3,205万4千円	3.3%
商 工 費	18億1,004万5千円	4.5%
土 木 費	3億9,341万円	1.0%
消 防 費	4億6,702万2千円	1.2%
教 育 費	7億9,081万6千円	2.0%
災害復旧費	13億7,638万8千円	3.5%
公 債 費	12億6,735万円	3.2%
復 興 費	263億4,332万9千円	66.1%
予 備 費	4,015万7千円	0.1%
計	398億5,000万円	100.0%

性質別経費



義務的経費 (支出が義務付けられ任意に削減できない経費)
人件費…職員等の給与、議員及び各種委員会委員の報酬の経費
扶助費…社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する経費(主なものは、児童手当、乳幼児・老人・障害者の医療費助成です)
公債費…町が借り入れた町債(借金)の返済に要する経費
投資的経費 (道路、漁港、学校などの整備に充てられる経費)
普通建設事業費…道路や公共施設の新増築などに要する経費
災害復旧事業費…地震等の自然災害などで被害を受けた施設等を復旧させるための経費
その他経費
物件費…委託料、旅費、賃金などの消費的な経費
補助費等…各種団体等に対して支出される負担金や補助金
積立金…特定の目的のために設けられた基金などに積立する経費
その他…維持補修費、投資及び出資金、貸付金、繰出金、予備費

57・8パーセント、国庫・県支出金、地方交付税等の依存財源が42・2パーセントとなっています。自主財源においては、前年度予算に比べ約101億9、864万円の減となっています。これは、町税が約2億2、922万円の増額となりますが、国からの復興交付金によって積立てた復興交付金からの繰入金が大幅な減額となり、繰入金全体で約104億3、565万円の減額となっているためです。

一方、依存財源においては、前年度予算に比べ約164億2、136万円の減となっています。これは、地方交付税や、がれき処理事業の完了に伴う国庫支出金の減額等によるものです。

地方交付税については、全体の25・7パーセントを占めており、前年度と比較すると、25億2、000万円の減と見込んでいます。これは、東日本大震災に係る復旧・復興事業等の実施のための特別な財政需要等を考慮して交付される「震災復興特別交付税」が22億6、000万円減の66億円を見込んであること等によるものです。

【歳出予算の特徴】

歳出は、目的別経費と性質別経費のふたつの面からその特徴を見ることが出来ます。